

# 藻場造成に関する新たな食害防除技術の開発

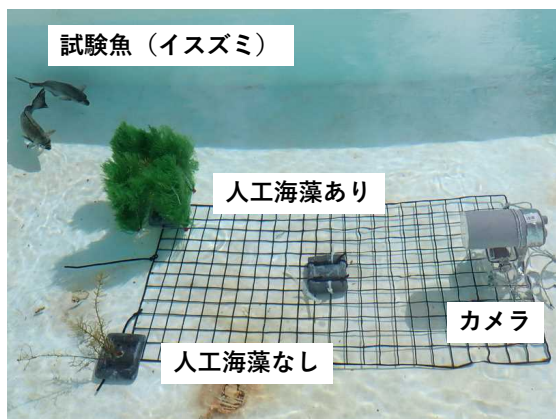
令和6年9月17日 漁場環境部

当センターでは、ブルーカーボンで注目されている藻場を造成するための技術開発に取り組んでいます。

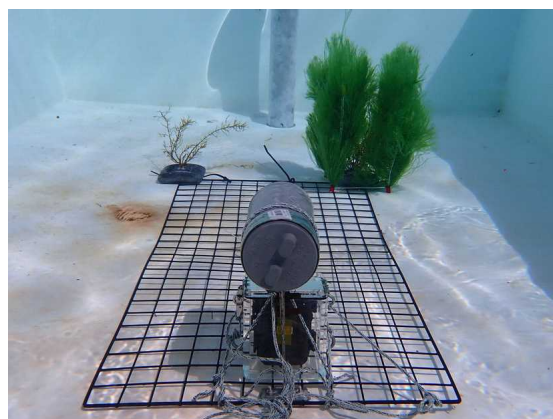
藻場は、多くの水産生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する以外にも海中の栄養塩や二酸化炭素を吸収・固定し、酸素を供給するなどの大きな役割を果たしていますが、本県では植食性魚類による食害等により藻場が形成されにくい状況が続いています。

現在、藻場造成区域を網で囲い、魚類の食害を防除することで藻場が形成されることが分かっていますが、多大な費用や労力が必要であるため、簡易的な人工海藻（キンラン等）を用いた新たな食害防除技術の開発に取り組んでいます。

今回、水槽試験により人工海藻の食害防除効果を確認したことから海域試験に移行して技術の確立を目指します。



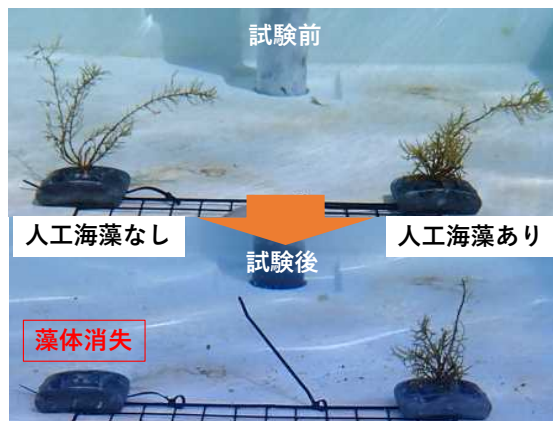
試験景観



試験景観 (水中)



試験魚 (イスズミ)



試験結果 (人工海藻が食害を防除)